

様式5

入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成29年3月6日(月) 香川大学 大学本部 5階 第二会議室	
委員	委員長 近藤 道広(香川高専施設課長) 委員 武田安紀彦(弁護士) 委員 大塚 和辰(公認会計士・税理士)	
審議対象期間	平成28年1月1日～平成28年12月31日	
抽出案件(合計)	6件	(備考)
工事(小計)	3件	
一般競争入札 (政府調達に関する 協定対象工事)	件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	1件	
工事希望型競争入札	件	
通常指名競争入札	件	
随意契約	2件	
設計・コンサルティング 業務(小計)	3件	
公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1件	
標準型プロポーザル方式	1件	
一般競争入札	件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別紙

意見・質問	回答
<p>(1) 入札案件審議 (契約実績について事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札件数について、例年に比べどのくらいの増減があったか。 <p>(抽出案件について個別に審議開始)</p> <p>抽出案件① 香川大学(幸町)第二体育館便所改修その他工事 (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査のため一旦入札を保留したとあるが、どのくらいの期間保留したか。 ・通常、最低基準価格を設定した場合、その価格を下回ったらいけないのではないのか。 ・すべての工事に対して低入札価格調査をするのか。 ・低入札価格調査を実施し、当該業者と契約して工事を進めていった際に、実際に不具合(追加工事等)が発生した事例はあるか。 ・低入札価格調査において、入札者の積算内容においても調査を行うか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ例年どおりです。 ・1週間程度です。 ・低入札価格調査を行い、実際にその入札額で工事が施工できるかを確認し、可能と判断された場合は、その価格で契約しています。 ・予定価格が1千万円を超える工事案件について、最低基準価格を設定しています。 ・ありません。 ・行っています。

<p>抽出案件② 香川大学（医病）基幹・環境整備（屋外環境整備）工事 （事務局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注業者選定について、会議に諮っているか。 ・同地区で施工中の工事については、建築工事と思われるが、今回の工事案件については、取り壊し工事である。解体専門業者に発注すべきではないか。 ・経費率の節減が随意契約を行った主たる理由か。 ・附属病院再開発推進委員会で、年度内に工事を完成させたいという意向がでてきたのはいつ頃か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議には諮っていません。 ・本工事の受注者は、「建築一式工事」を取得しており、その資格は、取り壊し工事を含む総合的な資格のため、問題ありません。 ・工期の短縮と経費率です。 ・平成27年12月です。
<p>抽出案件③ 香川大学（医病）外来・中央診療棟等改修その他機械設備工事（設計変更分その3） （事務局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計変更しては、金額が大きいように思われる。「変更」という名称が適当なのか疑問が残る。 ・当初見積もった額が適当ではなかったのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に行っている事業で変更があった場合は、契約変更を行うように規則で決まっています。よって、予期せぬ事態が発生し、元工事と非常に関連性が強いということで、設計変更という手続きをとっています。 ・元工事については、平成25年から文部科学省に予算要求してまいりました。その金額に対して、震災や物価高騰の影響により、途中から工事金額が増加しました。

<ul style="list-style-type: none"> ・当初から工事計画について変更はあったか。 ・契約手続き等について、かなり苦慮されているようだが。 <p>抽出案件④ 香川大学（医病）基幹・環境整備（屋外環境整備等）設計業務 （事務局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1社しか参加していないようだが、内容的に難易度の高い設計業務か。 ・本体工事を前倒して、本案件についても早期に発注すれば、もっと業者は集まったか。 ・「屋外環境整備等」とは、どういった内容及び規模の設計業務か。 ・参加表明書評価表の点数について、120点満点中の56点であるが、この点数は低いのではないか。 <p>抽出案件⑤ 香川大学（三木町農学部）総合研究棟（A棟）改修その他設計業務 （事務局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画のとおり進めています。 ・本案件については、文部科学省に何度も相談させていただいて、手続きを進めてきました。 <ul style="list-style-type: none"> ・難易度は高くない設計業務であるが、他の設計会社が手一杯であったと思われる。 ・実際、どの時期に公募すれば、参加者が集まるかというのが読めないところです。 ・附属病院玄関周辺の舗装、植栽等及び給水設備の設計業務で規模は約 3,000 m²です。 ・担当する技術者の経験が少ないのが原因と思われます。しかしながら、課題に対する提案については、そこまで低くはないので問題はないと思われます。
--	--

<p>抽出案件⑥</p> <p>香川大学（医病）外来・中央診療棟他改修その他（建築）設計業務に伴う意図伝達業務 （事務局より説明）</p> <p>・意図伝達業務は、他の工事案件についても同様に必要になってくるようなものなのか。</p> <p>（２）その他</p> <p>（事務局より）</p> <p>・本学の入札監視委員会の規定で、審議対象期間は、その年の１月１日から１２月３１日となっています。一般的に規定の改正等については年度で改正されることが多々あります。審議対象期間を年とするのが良いのかあるいは、年度とするのが良いのか、ご意見をいただきたい。</p> <p>・本日の議事概要については、香川大学環境管理室のホームページで速やかに公表することとなっておりますので、よろしく申し上げます。</p>	<p>・すべての工事については、必要という訳ではありません。本学において、意図伝達業務の発注件数は少ないです。今回の案件については、附属病院再開発事業の工事に係る意図伝達業務であり、長期的な工事であることから、設計当初より、少しずつ変更になっています。そういった変更の設計図面の作成も含めた業務となっております。</p> <p>（委員より）</p> <p>・一般的には年度が多いのではないかと。そうすると、５月か６月に入札監視委員会開催することになると思う。また、年度になると、人事異動についても考慮しなくてはならないかと思われる。そのような問題がクリアできるのなら年度でもいいのではないかと。</p>
---	---